

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 千葉県立松戸国際高等学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒270-2218  
千葉県松戸市五香西5-6-1

E-mail [matsudokokusai-h@chiba-c.ed.jp](mailto:matsudokokusai-h@chiba-c.ed.jp)

Website <http://cms1.chiba-c.ed.jp/matsudokokusai-h>

幼児児童生徒数 男子 358名 女子 731名 合計 1089名  
幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「希望（ESPERANZA）」を校訓とし、教育目標の一つとして「他者の尊重」を掲げている。これは、「他者に対する思いやりある心、対話を通して物事を解決していく姿勢を養い、国際社会、民主社会の一員としての自覚を喚起すること」を目指している。

これに基づき、食文化をとおして日本と国際社会に貢献できる人材の育成を目標とした。

具体的には、和食も含めた様々な国の料理を知ることがを柱に、調理技術の向上とともに、その国の文化についての学習を行った。

### 1 和食を知る活動

2013年に世界文化遺産に認定された和食の魅力をもとに料理研究を重ねて海外に情報発信する活動をしている。本校に勤務するALTとともに外国語をとおして料理する機会も作っている。

## 2 外部講師を招いての食文化に関する講習会

本校では、年に数回外部講師の協力を得て、和食も含めた様々な国の料理に触れる機会を作っている。調理方法はもちろんその国の食文化等にも関心を持ってもらうことを意図している。

## 3 各種コンテストや発表会への参加

日頃の活動の成果を試すために各種コンテストや発表会への参加を奨励している。また、コンテストや発表会をとおして、他校の取組を学び、他校の生徒との交流も広げることができる。

### 1 の写真「和菓子と洋菓子のコラボレーション」



### 2 の写真



### 3 の写真（コンテストで入賞した生徒の表彰式）



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

|                                      |   |  |                                   |
|--------------------------------------|---|--|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 環境       | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー                 | <input type="checkbox"/> 3. 防災                     | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動     | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産           | <input type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉    | <input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育        | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費            | <input type="checkbox"/> 12. 貧困   |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク   | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク                | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) |                                   |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他( )               |  |                                   |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

|   |  |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力     | <input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力          |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度    | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度    |  |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )              |  |

ウ. 活動時間 (複数選択可)

|  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 教科の時間      | <input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間        |
| <input type="checkbox"/> 3. 特別活動等      | <input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 ) |  |

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

|       |
|-------|
| とくになし |
|-------|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校は、平成29年度にユネスコスクールへの加盟が認められ、可能な限り、その活動に参加する方法を探っている。考えられる方法の一つとして、本校のクッキング部を中心とした活動を多くの学校に発信することである。顧問の指導の下、様々な料理を作り、その成果を発表している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ユネスコスクールの事務局から発信される様々な活動を教頭が中心となり、紹介している。参加可能な活動をクッキング部やボランティア部等の顧問に紹介している。今年度は、加盟が認められた初年度ということもあり、参加はかなり限定的だが、徐々にその環境は整ってきているように思う。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ユネスコスクールとしての活動がまだ定着していないこともあり、内部的にも外部的にも、それを評価していただく段階には達していない。平成30年度には、本校がユネスコスクールの加盟校であることが外部の方々にも認知され、より良い活動ができるように、PTAや「開かれた学校づくり委員会」等の場で活動等を発表し、助言をいただく。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

地域の拠点となる大学において、生徒が活動内容を発表した。その内容としては、クッキング部の特徴ある活動（外部講師を招いての料理講習会や文化祭やコンテストへの参加等）があげられる。このような発表の場を与えられることで、生徒は普段の自分たちの活動を振り返ることができるとともに、他校の様子を知ることによって、多くの刺激を受けることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

昨年度は、前述した千葉大学の発表会において、他の高校生徒の交流を持つことができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

昨年度は、この点について発展させることができなかった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

本校は、国際高校という特徴もあり、元来国際交流が盛んな学校であった。それに加えて、ユネスコスクールへの加盟が認められたことで、一層、国際交流の幅や頻度が増えることが予想される。それにより、生徒の国際的視野が広まり、学校経営の面でもよい影響が表れることが期待される。また、その活動を広く発信することにより、地域や中学生にも認知されれば、松戸国際高校に対する印象もさらに好転するであろう。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

クッキング部を中心として、平成30年度は、次のとおり活動する予定である。

- 4月 松戸市のさくら祭への参加
- 7月 本校文化祭での参加、研究発表
- 8月 ユネスコスクール講習会参加（千葉大学）
- 9月 外部講師を招いての食文化に関する講習会①
- 10月 高校生牛乳料理コンテスト参加
- 11月 ユネスコスクール行事参加予定（千葉東高校）
- 12月 外部講師を招いての食文化に関する講習会②
- 1月 外部講師を招いての食文化に関する講習会③
- 2月 千葉大学における交流会参加